

# 平和展日記 2019.8.2(金)晴れ

5分で見られる平和展

当番：診療情報室＝田崎、椎名、前河原、小林/友の会多摩川＝渡辺正、渡邊榮/  
友の会青梅＝宮田/友の会立川＝牛崎/友の会本部＝大神田、高田/法人＝乾/立相＝巢内

**なくそう核兵器 いかそう憲法9条 私たちから平和の波を！**

発行：平和展実行委員会/事務局：立川相互病院社保組織課

看護体験後に立ち寄ってくれた女子高校生2人、  
中学3年時に長崎で被爆した88歳男性と奥様、  
「生徒を戦場に送ることは許さない」と強い信念の高校教員、  
平和展をきっかけに立川相互病院に初めて来たという女性、  
パレスホテルでランチ後に、友人のお勧めで見学に来た女性達、  
「焼き場に立つ少年」のポスターを提供してくれた友の会役員、  
検査中のお母さんを待っている間にちぎり絵を楽しんだ子ども達、  
ちぎり絵に連日来てくれた女性・・・今日も様々な出会いがありました。



私は看護師を目指しています。立川相互病院は戦争から帰ってきた方々が作った病院だということを知りました。戦争時、まず医師や看護師が召集されると聞いたが、戦争は二度としてはいけないことだと思う。私は将来、社会貢献できるような看護師になりたいと改めて思いました。 高校生・女子



ジョー・オダネル撮影「焼き場の少年」を提供した友の会多摩川支部の渡辺正郎さんは語りました。「16歳の郵便局員、配達中に長崎で被爆。背中一面大やけどを負い生死をさまよったがその後、核兵器廃絶運動をけん引してきた谷口稜暉(すみてる)さん。本人からこの写真をもらった。平和を愛する私の人生の原点だよ。」